

令和6年度 林分条件調査表

森林管理署	下北森林管理署
物件番号	2
物件名	森林環境保全整備事業(大平滝国有林)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量											最寄り市町村からの距離 km	備考										
									本数	材積 m ³	m ³ /本	N	L	計	伐倒		集・造材		小運搬巻立			森林作業道作設			林地保全			土場作設等 h	砂利数量 m ³	薬剤散布(スミイ ²) g	鉄板規格*枚数						
															方法	数量 m ³	方式	数量 m ³	フォワーダ片運搬距離 m	数量 m ³	トラクタ片運搬距離 m	数量 m ³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種編組 m							緑化 m ²					
51い	水涵保	スギ	35	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.42	33	20	511	165	0.32	84	3	87	全木	165	プロセッサ	87	1226	87	4,300	87	緩												東通役場	9.8	
51ち1	水涵保	スギ	35	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.21	33	22	1,154	402	0.35	197	16	213	全木	402	プロセッサ	213	454	213	4,300	213	中												東通役場	9.8	
51ち2	水涵保	スギ	35	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	5.47	33	22	1,958	684	0.35	335	28	363	全木	684	プロセッサ	363	340	363	4,300	363	中												東通役場	9.8	
51と	水涵保	スギ	25	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.14	33	18	1,631	243	0.15	125	4	129	全木	243	プロセッサ	129	439	129	4,300	129	中												東通役場	9.8	
51い1	水涵保	スギ	35	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.60	33	20	581	186	0.32	95	3	98	全木	186	プロセッサ	98	823	98	4,300	98	中												東通役場	9.8	
51い2	水涵保	スギ	35	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.46	33	20	1,613	518	0.32	269	8	277	全木	518	プロセッサ	277	426	277	4,300	277	中												東通役場	9.8	
51よ	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.06	33	28	786	503	0.64	242	23	265	全木	503	プロセッサ	265	945	265	4,300	265	中												東通役場	9.8	
54い2	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	12.42	25	20	4,079	1,371	0.34	716	5	721	全木	1,371	プロセッサ	721	284	721			中												東通役場	6.2	
54は4	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.67	25	22	1,924	873	0.45	460	1	461	全木	873	プロセッサ	461	358	461			緩												東通役場	6.5	
54は5	水涵保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.51	25	22	684	256	0.37	134	1	135	全木	256	プロセッサ	135	142	135			緩												東通役場	6.5	
合計						41.96			14,921	5,202	0.35	2,657	92	2,749		5,202	2,749		2,749		1,432		6,205m	0	0	BH0.45 30		3,600	6m×60枚 120日								

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0°～20°、中:20°～30°、急:30°以上
4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編組および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

2号物件

林小班	森林作業道延長距離	
51い外9	概ね	6,205 m

別紙

検知業務請負作業内訳書

素材検知業務請負(大平滝国有林)

単位: m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
第2号	素材	(1)の業務	1,320	
		(2)の業務	604	
		(5)の業務	825	
		合計	2,749	

検知業務請負(作業内容)

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、材積計算を行い、送状(概算引渡物件明細書)を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知(縦、横、高さを測る)を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。